

# 乙 貞

第113号 通巻20巻第4号  
2000年11月1日 発行

守山市立埋蔵文化財センター  
☎・FAX 077-585-4397

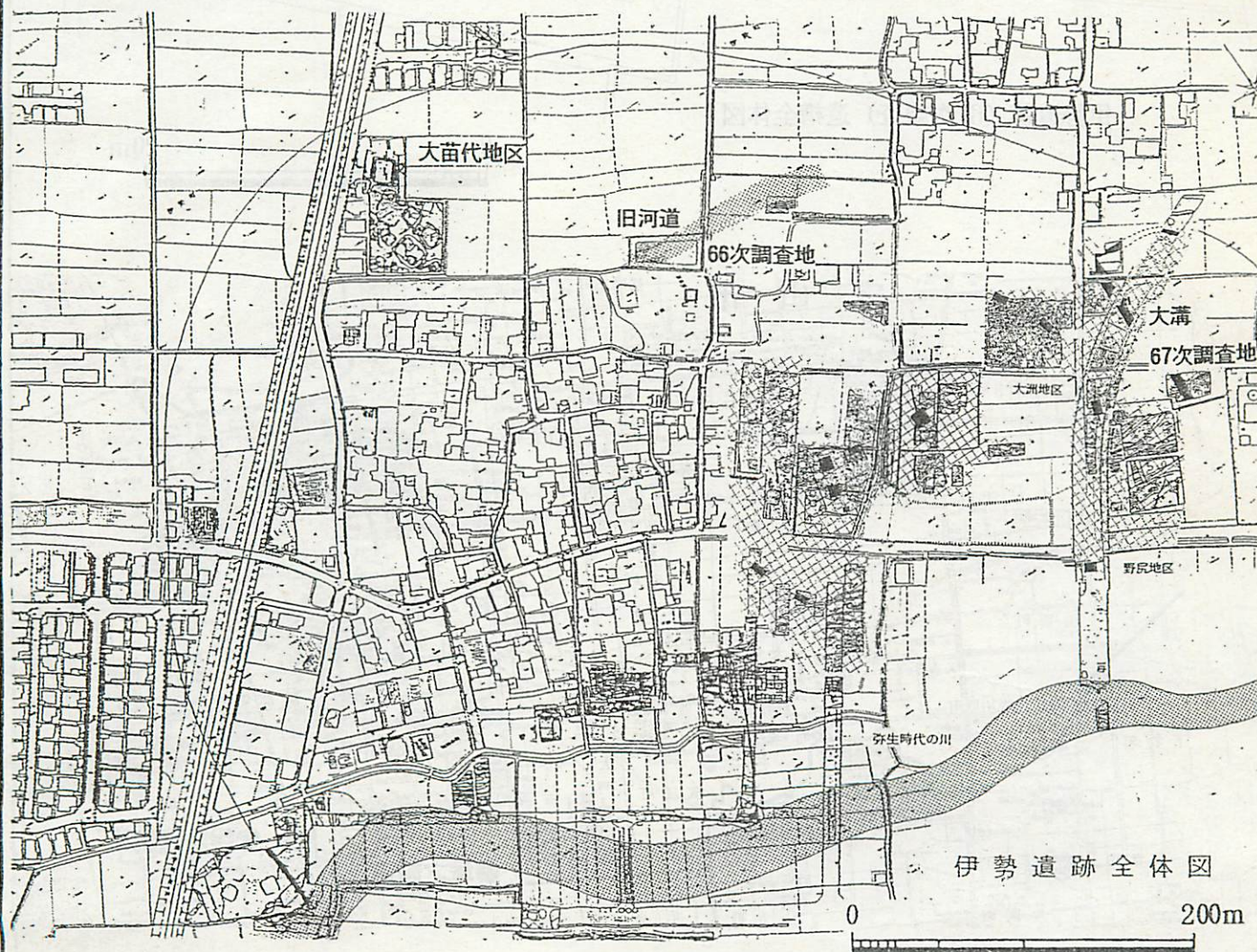
☎524-0212  
守山市服部町2250番地

## ☆伊勢遺跡の確認調査から☆

### 1. 伊勢遺跡66・67次調査（伊勢町）

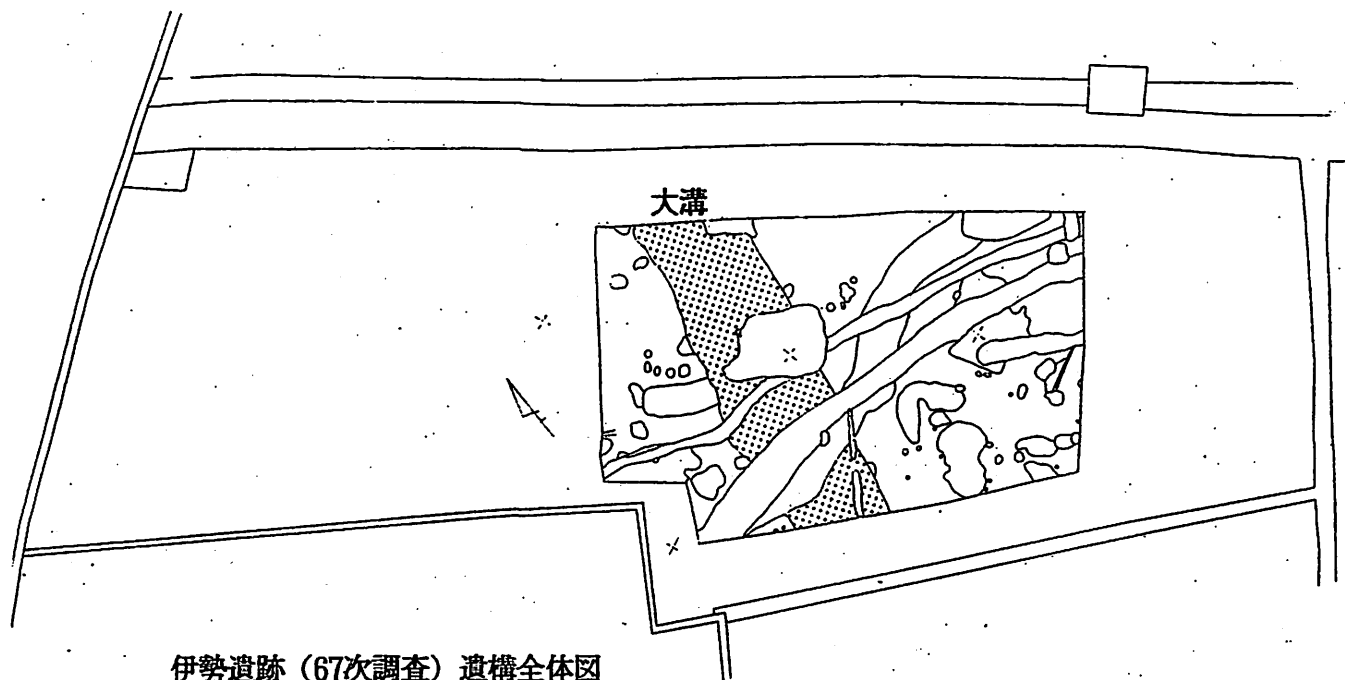
平成9年度から、伊勢遺跡の範囲確認調査を実施しています。今年度は遺跡の北側及び東側の境界を確認する作業を進めています。66次調査では、伊勢遺跡の中心部から約150m離れた地点で幅約20mの旧河道を検出しました。この川から北側に向かって地形的に落ち込むことから、東西方向に流れる川を挟んで、大型建物が集中する東部地区と弥生時代後期の集落及び古墳時代初頭の方形周溝墓群が確認されている<sup>おおなわしろ</sup>大苗代地区に分かれると推定されます。

67次調査は伊勢遺跡の東部を南北方向に断ち割る大溝の延長部を確認するために実施しました。その





結果、南北方向に幅約6mの大溝が検出されたほか、古墳時代から中世にかけての溝が3条確認されました。今回の調査によって、伊勢遺跡の東側を南北方向に断ち割る大溝は110m以上にわたって直線的にのびていることがわかりました。この大溝の周辺では、弥生時代後期の堅穴住居などの遺構が検出されなかったことから、この大溝が遺跡の東側の境界となっていることが推定されます。(伴野)



伊勢遺跡（67次調査）遺構全体図



発掘調査位置図

## 2. 塚之越遺跡<sup>つかのこし</sup>15次調査（古高町）

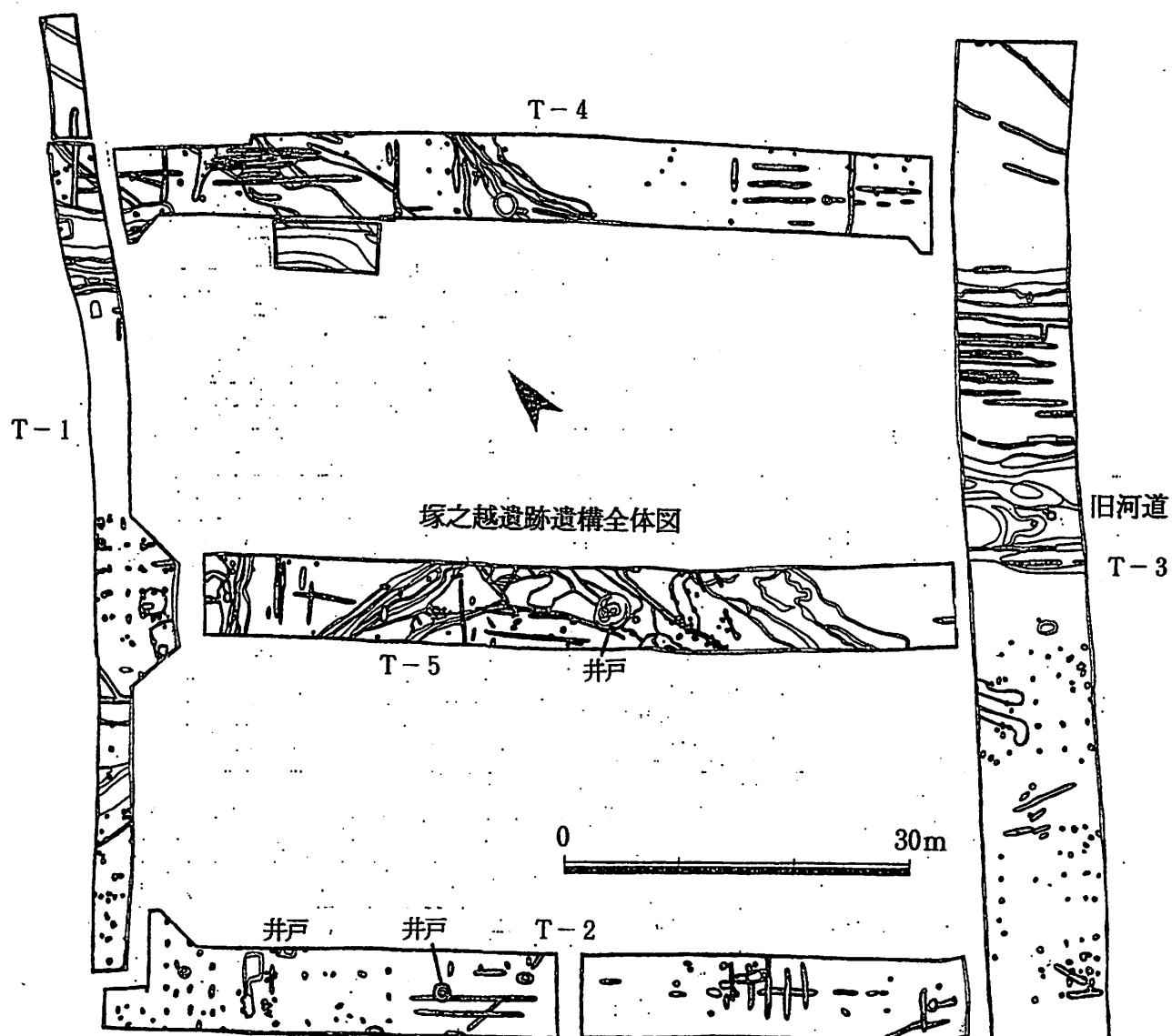
5月に始まった調査も9月上旬で終了しました。今回は時代別に調査の成果をまとめたいと思います。

### 縄文時代

縄文時代の生活跡は確認されませんでしたが、土器とサヌカイトの剥片が数点出土しました。11次調査では石器製作に関連したと考えられるサヌカイトの剥片が多数まとまった集積遺構が見つかっており、今回出土した剥片もこの地で石器製作がおこなわれた証拠と考えられます。なお、サヌカイトと一緒に出土した土器から縄文時代中期末頃の年代が考えられます。

### 弥生時代後期末～古墳時代前期

この時期には旧河道、溝、落ち込み状遺構が見つっています。T-3調査区で見つかった旧河道は幅が10mあり、調査区壁際で急激に3mも深くなっています。その周囲には杭の痕跡が多数認められ、人工的な水貯めとして活用されていたことが考えられます。また、溝は南北方向に流れるものと東西方向に流れるものがあり、調査区の外で交差または合流していることが考えられます。竪穴住居などの生



活施設は見つかっていないことから、ムラの周辺地域であった可能性が考えられます。

### 古代末～中世

古墳時代中期から古代にかけてはこの土地は活用されなかったようで、人々の営みを窺わせるような遺構、遺物は確認されていません。人々が再びこの地で生活を始めるのは古代末になってからです。この時期の遺構には掘立柱建物や井戸があります。広い調査区内ではピットが集中する部分があり、建物を同じ場所で何度も建て替えていたものと考えられます。井戸は4基確認されています。中でもT-5調査区で検出した井戸はコンテナ4箱分の土器と木器が出土しており、使用されなくなった後、ゴミ捨て場として使われていたことが考えられます。

これからの整理作業では周辺の調査成果と合わせながら、各時代ごとの人々の営みを詳しく復元していきたいと思います。

(大岡)

## 埋蔵文化財特別展とシンポジウムのお知らせ

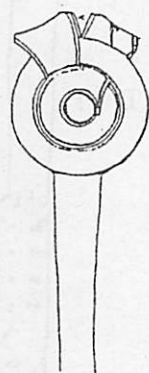
埋蔵文化財センターでは市制施行30周年記念事業として、埋蔵文化財特別展とシンポジウムを開催します。

### 埋蔵文化財特別展

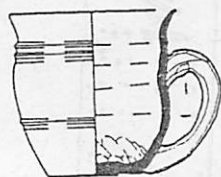


- ◇開催テーマ 「守山の歴史を掘る3」
- ◇開催期間 平成12年11月22(水)～11月27(日) ※休館日 11月24日(金)
- ◇見学時間 午前9:30～午後4:30
- ◇展示会場 守山市民ホール展示室 〻JR守山駅下車、近江バス守山市民ホール前下車 〻
- ◇展示内容 縄文時代～中世にかけての近年の調査成果

### シンポジウム



- ☆開催テーマ 「弥生のなりわいと琵琶湖」－近江の稲作漁労民－
- ☆開催日時 平成12年11月25日(土) 午前10:00～午後4:30
- ☆会場 守山市民ホール集会室
- ☆定員 先着300名 ※早めに往復ハガキにてお申込み下さい。
- ☆参加費 資料代として500円が必要です。
- ☆プログラム
  - 午前
    - ・「弥生のなりわいと琵琶湖」嘉田由紀子(京都精華大学教授)
    - ・「守山の弥生遺跡」山崎秀二(守山市教育委員会)
    - ・「DNA分析からみた稲作の実像」佐藤洋一郎(静岡大学助教授)
    - ・「琵琶湖の魚からみた稲作文化」中島経夫(琵琶湖博物館研究部長)
  - 午後
    - ・「まちづくりと遺跡」坂井秀弥(文化庁文化財調査官)
    - ・パネルディスカッション
    - 上記講師の他、佐原真(国立歴史民俗博物館館長)、高谷好一(滋賀県立大学教授)、大沼芳幸(滋賀県教育委員会)氏が加わります。



【問い合わせ、申込み先】 守山市立埋蔵文化財センター ☎・FAX 077-585-4397